

# 甲斐駒ヶ岳 奥壁中央稜

2016年10月22日(土)～23日(日)

メンバー：L坂野・犬山・松野(記)

このルート、3度目の挑戦でやっとトレースできました。過去2回はいずれも雨に降られ、中央稜取付きを確認しただけで終わっていました。アプローチの黒戸尾根が長いだけに、登れなかった時の落胆は大きかったですが、今回はその分嬉しさ倍増です。

【1日目】 長い黒戸尾根の登り、紅葉がきれいでした。途中カモシカに会いました。



七丈小屋のテントサイトからは富士山と鳳凰三山が見えました。



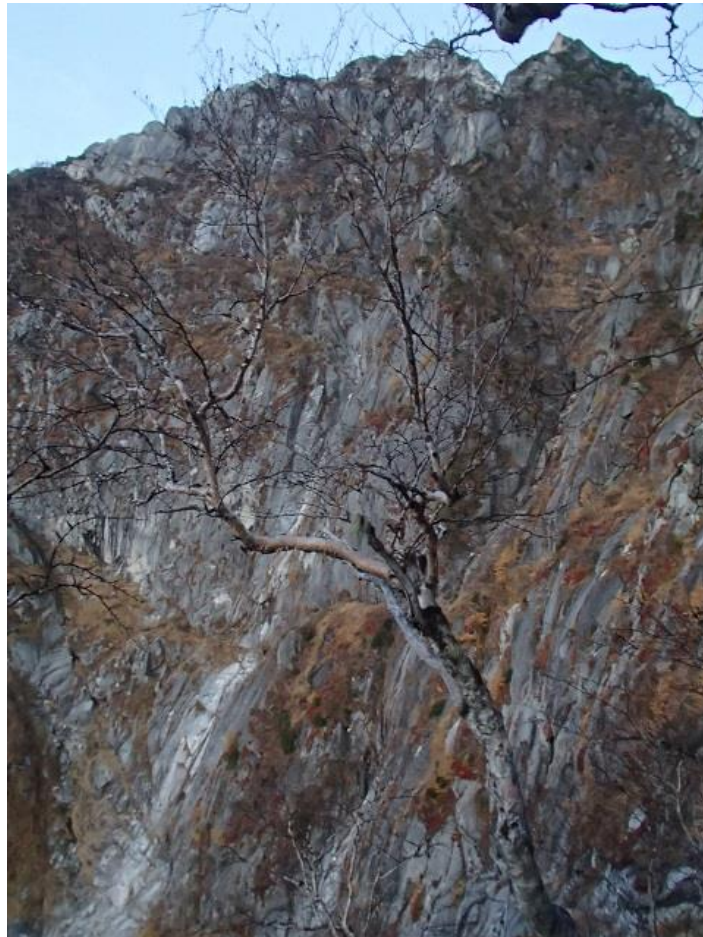
〈コースタイム〉

7:20 竹宇駒ヶ岳神社登山口 - 9:25 横手分岐 - 11:20 刃渡り -  
12:40 五合目 - 13:35 七丈小屋テントサイト

【2日目】 暗いうちから出発、八合目で日の出を待ちます。



明るくなってから登山道を離れ八丈バンドを進んでゆくと、奥壁がドーンと目の前に広がってきます。  
白い筋になっているところが左ルンゼで、目指す中央稜はその右側です。結構な迫力…。





取り付きへ向かう途中、同じく中央稜へ行くという先行パーティーがいたため、手前の右ルンゼ広場あたりで、ゆっくり登攀の準備をしました。



先行パーティーが順調に登って行き、そしていざ私たちの登攀。1ピッチ目リードすることになり、集中していたのか、取り付きの写真を撮るのを忘れてしまいました。（取り付きに来るのは3回目だというのに、1枚も写真がないなんて・・・）

1P目はザックがつかえるクラックから始まり、その後滑り台のようなフェース、支点がとりにくくランナウトぎみでしたが、フリクションがとても良かったです。先行パーティーと同じダケカンバの木でピッチを切りました。

そして2ピッチ目、広いスラブを超えてゆきます。

先行パーティーがハーケンを打って前進していたので、ちょっと警戒しましたが、そこまで悪くありませんでした。



3ピッチ目の出だしは手掛かりの少ない立った壁になっていました。ここは「A0 または人工」とトポにありましたが、坂野君はフリーで行こうとしばらく奮闘、粘ったものの荷物も背負ってるし、シューズも本気シューズじゃないしで、結局手持ちのスリングに足を掛けて越えていきました。私と犬山さんは残置のアブミ状になったスリングを使って越えました。



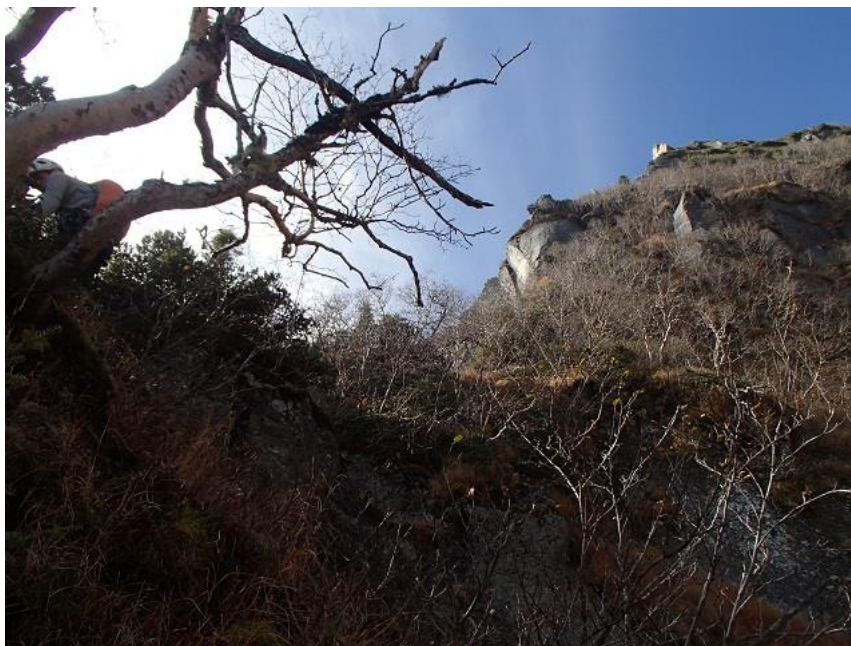
このピッチではその後、体がびったり入ってしまう、短いけどいやな感じのクラックがあり、ザック共々ずりずり這い上がり疲れしました。

4ピッチ目は岩溝を少し右上した後、このルート唯一の、スッキリきれいに割れたクラックが現れました。テンション上がりましたが、ここも写真撮り忘れてます・・・。





これで実質クライミングのパートは終了、あとは赤岩ピークまで藪漕ぎです。  
とはいえ、薄っすら踏み跡があるので見失わないよう登って行きます。木登り、草付きも出てきます。



どんどん標高を上げ、最後は鳳凰三山をバックにハイマツの藪漕ぎをこなすと、不意に登山道に出ました。



登山道に出たところで荷物をデポ、山頂を往復し、無事に目的達成できました。



デポ地へ戻る途中、雷鳥が現れました。  
悪天の兆しに思われましたが、なんとか登山口まで持ち応え、  
徐々に雨に降られない山行となりました。



〈コースタイム〉

4 : 45 七丈小屋テントサイト - 5 : 15 八合目鳥居 (しばらく待機) -  
5 : 50 中央稜取り付き (先行パーティー待ち) - 6 : 20 ? 登攀開始 -  
12 : 00 赤岩ピーク直下登山道 - 12 : 20 甲斐駒ヶ岳山頂 - 13 : 20 七丈小屋テントサ  
イト - 14 : 30 五合目 - 17 : 30 竹宇駒ヶ岳神社登山口